

いよよきグループ

読んでる姿が目浮かぶ

一点訳グループ富士かたつむり



△きょうは本の編集日

私たち「富士かたつむり」は、点訳講習会を終了した人たちを中心に、昭和54年に誕生し10年目を迎えています。

主な活動は、盲人福祉会の皆さんに読んでいただく、隔月発行の点字情報紙「かたつむりフレンド」の発行です。内容は、新聞、週刊誌からの抜粋記事、暮らしの知恵、食生活、健康に関するもののほか、読者からの投稿なども載せて相互のコミュニケーションも図ります。

このほかに盲人福祉会から依頼される文書の点訳、福祉課で毎月行う点字講習会の手伝い、盲人関係行事への参加、盲人料理教室テキストの点訳など多方面で役に立ちたいと頑張っています。

現在7人のメンバーが、毎月第1土曜日にボランティアセンターで、製本や点訳の勉強会をしています。点訳は根気のいる仕事ですが、これからも1点1点心を込めて正確できれいな点字を読んでいただけるよう努力していくつもりです。

問い合わせ 保健婦人センター内
ボランティアセンター ☎64-7100

富士市は気候が温暖で、めったに雪が降らないと思われている人が多いと思いますが、実はよく降るのです。それは、富士市域が富士山の八合目、三千四百二十一メートルからです。ちなみに、標高が百メートルになると、気温は平均〇・六度C下がるといわれています。

こちら編集室

富士の今と昔 ④④



埋まることもなくなった

胸まで埋まって田植え

昭和五年ころ、浮島での田植え風景です。三十年前増川の農家に嫁ぎ、初めて田んぼに入ったという森とし子さんのお話。「うちの田んぼはひざぐらいだったけど、沼川に近いほど深く埋まったね。足にヒルが食いついて気持ちが悪かった。苗を真つすぐに植えられなくてよく怒られたし、腰が痛くてまいったね。今は機械も入るし昔に比べると遊びみたいだな。腰の曲がる人もいなくなったよ」



ぼくの作品 わたしの作品



富士見台リズム保育園長組のお友だちの作品を紹介します。保育園からよく見える富士山をかけたよ。山の形や色がむずかしかったんだ。習字も、時々練習しているから上手に書けたでしょう。



※来年1月20日号からは、小学1年生の作品になります。